

沖縄の民意を踏みにじるな

埋め立てNO! オスプレイNO!

全国キャラバン出発集会



● 日にち：2015年2月21日（土）

● 時間：18:00開始

● 場所：協同会館アソシエ・ホール
（大阪市東淀川区淡路3-6-31）

● 参加費：500円

● 講演

「安倍政権の恫喝に屈せず、勝利まで闘う」（仮）

安次富 浩

● キャラバン隊からのアピール 他

主催：沖縄意見広告運動・関西事務所

大阪市東淀川区淡路 3-6-31-2F tel. 06-6328-5677

警察・海保の暴力に屈せず、闘い続ける沖縄県民 私たち自身が今、問われています。

■深夜に基地建設の資材を搬入！

政府・沖縄防衛局は、年明け1月10日深夜から11日未明にかけて辺野古新基地建設のための資材・工事車両を搬入。以来、陸上での資機材の搬入、海上でのブイ・フロートの設置が強行的に再開されています。

これに対し、基地建設に反対する県内外の多くの市民は、寒風の中、キャンプ・シュワブゲート前で、海上で、体を張ってたたかっています。現場では、政府・沖縄防衛局の「ガードマン」になり下がった警察・機動隊や海上保安庁職員の暴力により、何人もの市民が負傷。しかし、そんな脅しに負けることなく、毎日、必死の思いで「命の海を人殺しの基地にしないで！」と叫び続けています。

■「辺野古NO」の民意は揺るがない！

昨年行われた、名護市長選(1月)・沖縄県知事選(11月)・沖縄県議補選(11月)・衆院選(12月)、この全てにおいて沖縄の人々は「辺野古に基地はいらない」との民意を誰の目にも分かるかたちで示しました。特に知事選では、10万票の大差をつけて、辺野古埋め立てを承認した仲井真氏を知事の座から引きずりおろし、「辺野古基地反対」を掲げる翁長(おなが)新知事を誕生させたのです。

しかし、「辺野古」に固執する安倍政権は、この重い民意を握りつぶすように工事を再開。しかも、以前にも増して暴力的強圧的に工事を進めようとしています。さらには沖縄振興予算を減額し、翁長県政に圧力をかけています。民主主義をうたう日本でこんなことが許されてよいのでしょうか。

■2・21キャラバン出発集会に参加しよう！

私たち沖縄意見広告運動では、辺野古の問題、そして、「欠陥機」オスプレイの問題をひとりでも多くの方に知ってもらうため、今年もキャラバンカーで全国各地を回ります。そして、その出発集会を2月21日に開催。ここには辺野古で海上行動の指揮をとる安次富浩さんにも駆けつけてもらい、「沖縄の今」を伝えてもらいます。

心あるみなさん、

ぜひ、沖縄・辺野古で起きていることを知ってください。

そして、一緒に「おかしい」と声をあげてください。

キャラバン出発集会に参加し、関西からも「基地はいらない」の意思を示しましょう！